



F U N
M O R E
T I M E
SHINJUKU

街が沸くお
西新宿へGO!

ファンモアタイム新宿2024

10/18^{FRI} ~ 20^{SUN} 10:00から
17:00まで

*コンテンツにより開始時間が異なりますので詳細は公式サイトをご覧ください。

西新宿エリア

(街路・公園など)



ファンモアタイム新宿2024の実施報告

【目的】

令和5(2023)年3月に東京都・新宿区が策定した「西新宿地区再整備方針」に示す西新宿の将来像を社会実験を通じて仮想的に実現することで、西新宿地区の将来像を広く周知するとともに、具体的な整備検討のための効果・検証を行う。

【実施内容】

新宿副都心4号街路を中心とした西新宿地区の公開空地（都民広場を含む）や道路空間（車道・歩道）等を一体的に利活用し、多様な人々の滞在・交流を促進するコンテンツを配置。

■エリアマネジメント（環境改善委員会）

- ・ 公開空地や道路空間などのオープンスペースを活用し、エリアマネジメントを通じた魅力的なコンテンツの創出や情報発信

■東京都都市整備局

- ・ ウォーカブルな歩行空間の創出（4号街路及び12号街路の交通規制）
- ・ 都庁周辺の空間再編計画（令和6(2024)年3月策定）に基づく、都民広場や11号街路下を活用した滞在空間の創出

■東京都デジタルサービス局

- ・ スマートサービスの体験を通じて西新宿の取組を体感する場を創出

【開催期間】 2024年10月18日(金)～10月20日(日)

【主催】 ファンモアタイム新宿実行委員会
(一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会)

【共催】 東京都 新宿区

【来場者数】 延べ約6万人

利用実態の調査を行い、その効果を検証。

- ① 交通量調査 ② モビリティ利用者アンケート調査 (14～16頁) 【実施主体：東京都】
- ③ 都民広場の利用状況調査 (17頁) 【実施主体：東京都】
- ④ 「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査 (18～20頁)

【実施主体：環境改善委員会】

社会実験全景

車道部1車線を活用した賑わい創出（トランジットモール化） 18日(金)、19日(土)

車道部全車線を活用した賑わい創出（フルモール化） 20日(日)

▼車道部1車線の活用（4号街路）



4号街路の車道部1車線を規制し、
キッチンカーの出店等に活用

▼車道部全車線の活用（4号街路）その1



4号街路の車道部をすべて歩行者空間とし、
催し等に活用

▼平面交差（4号街路・12号街路）



交通規制により4号街路と新宿中央公園との
往来をバリアフリーにつなぐ

▼車道部全車線の活用（4号街路）その2



道路空間全面を賑わい空間に活用

都市空間の利活用（歩道部・その1） ～滞在等コンテンツ～

歩道部にて、多様な人々の滞在・交流を促進するコンテンツ等を配置し、利用実態を調査。
（ファニチャー商品の展示、新宿シェアラウンジ ほか）

▼ウォークラブルなまちづくり展示 @ユアサ商事（新宿住友ビル前）



多様な形態の座れる空間



▼新宿シェアラウンジ（ハイアットリージェンシー東京前）



▼キッチンカー（議会棟前）



飲食スペース（議会棟前）



▼総合受付 @大成建設（新宿三井ビル前）



移動式空間「モバイルインフィル®」

都市空間の利活用（歩道部・その2） ～滞在等コンテンツ～

歩道部にて、多様な人々の滞在・交流を促進するコンテンツを配置し、利用実態を調査。
（地元企業および大学による催し・展示）

▼防災ジャパンダPJ @損害保険ジャパン



▼健康情報提供 @東京医大（ハイアットリージェンシー前）



▼学生団体展示 @工学院大（京王プラザホテル前）



▼居心地の可視化体験 @桜美林大（議会棟前）



都市空間の利活用（歩道部・その3） ～パーソナルモビリティ～

歩道部にて、歩行者の回遊性を高めるパーソナルモビリティの試乗体験を実施し、利用実態を調査。

▼ パーソナルモビリティ体験 @環境改善委員会



COMOVE（コモビ）



▼ パーソナルモビリティ体験 @東京都街路計画課



WHILL Model C2



C+walk T



RakuRo（ラクロ）



PARTNER MOBILITYONE

都市空間の利活用（車道部・その1）

交通規制を行い、周辺交通への影響を調査。車道部を利活用し、利用実態の調査を実施。
（キッチンカー、飲食スペース）

▼キッチンカー（からあげマーケット）



▼飲食スペース



都市空間の利活用（車道部・その2）

交通規制を行い、周辺交通への影響を調査。車道部を利活用し、利用実態の調査を実施。
（東京消防庁による催し、防災スポーツ）

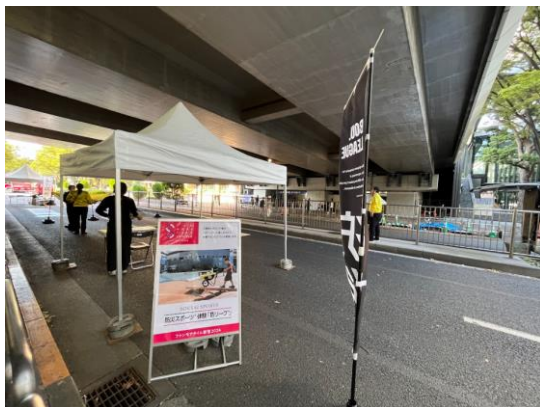
▼VR防災体験車



▼まちかど防災訓練車



▼防スポ®



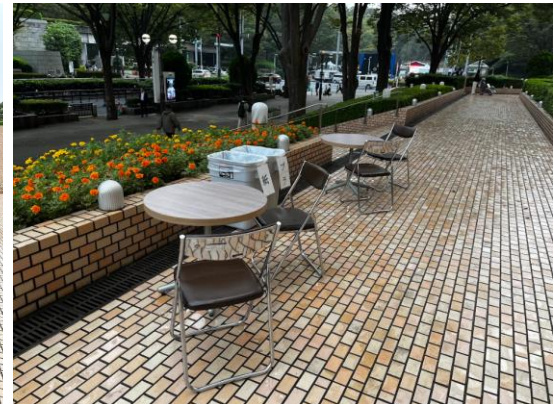
スポーツを通じて防災の知識と体力を身につける

都市空間の利活用（沿道の公開空地）

4号街路沿道の公開空地を利活用し、建物内の活動を滲み出し。

（ハイアットリージェンシー東京による飲食物提供、都民広場前の展示）

▼ 飲食物と飲食スペースの提供（ハイアットリージェンシー東京前）



▼ 西新宿地区に係るまちづくり計画の展示（都民広場前）



都市空間の利活用（都民広場）

芝生に憩い空間を設え、ステージやブース出展を通して、利用実態の調査を実施。

また、夜間においても憩い空間を開放。（憩い空間、ステージライブ、テントブース）

▼全景



広場中心部に敷設された芝生に、クッションやテーブル・椅子を設置

▼憩い空間とステージライブ



ステージでの演奏を楽しみながら、思い思いのくつろぎ方で過ごす様子

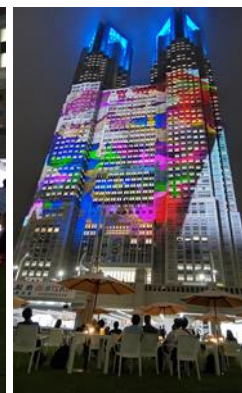


▼テントブース



子供向けワークショップや
展示・情報発信のための場を創出

▼夜間における憩い空間の創出



都庁プロジェクションマッピングを鑑賞

コンテンツ（その1）

スマートサービスの体験

（都民広場、11号街路下、歩道、新宿中央公園）

▼居心地いい空間（都民広場）



LINE等でみんなにとって居心地いい空間を調査し、投票結果を反映した空間を創出

▼スマートサービスの体験ブース（11号街路下）



11号街路下を全面的に活用し、各社の取組を発信



20年後の自分からのメッセージ

▼配送ロボット（歩道）



ロボットと歩行者のコミュニケーション風景

▼スマートサービスの体験等（新宿中央公園）



コンテンツ（その2）

自動運転車の乗車体験

▼自動運転車



新宿駅西口と西新宿エリアを結ぶ、新たな移動手段
トランジットモール化された空間を走行

乗降場所は新宿駅西口、新宿中央公園前の2カ所

総勢70名超の方が乗車

様々な主体との連携イベント

西新宿エリア周辺で活動する団体との連携

▼展示と飲食スペース @工学院大学（エステック広場）



建築学生による研究内容の展示など

▼ヨガイベント（SHUKNOVA）



新宿中央公園芝生広場でのヨガイベント

▼新宿G Tの情報発信@エリマネ等



駅開発の情報発信、鉄道5社の制服試着など

▼野菜販売@地元小学生



屋上で育てた野菜等を小学生自ら販売

▼仮囲い等アート@東京都

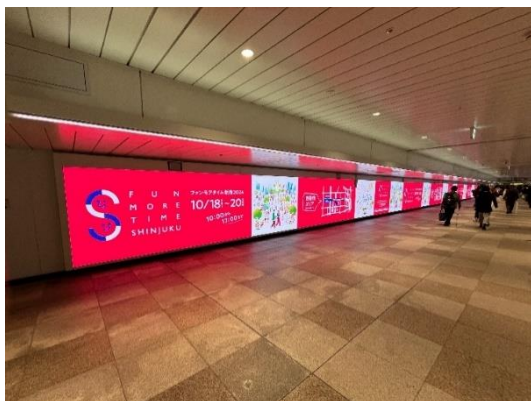


11号街路下の柱、仮囲いをアートして明るい空間に

案内・告知

新宿駅周辺の大型ビジョンの活用やポスター掲出により、事前告知を実施。

▼新宿駅周辺の大型ビジョン



新宿456ウォール



J・ADビジョン



クロスビジョン



ユニカビジョン



歌舞伎町タワー

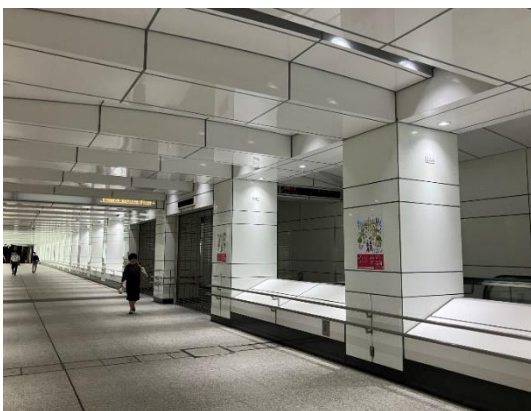


サザンテラスビジョン



アルタビジョン

▼新宿駅や4号街路トンネル部へのポスター掲出



4号街路トンネル部



スマートポール

① 交通量調査

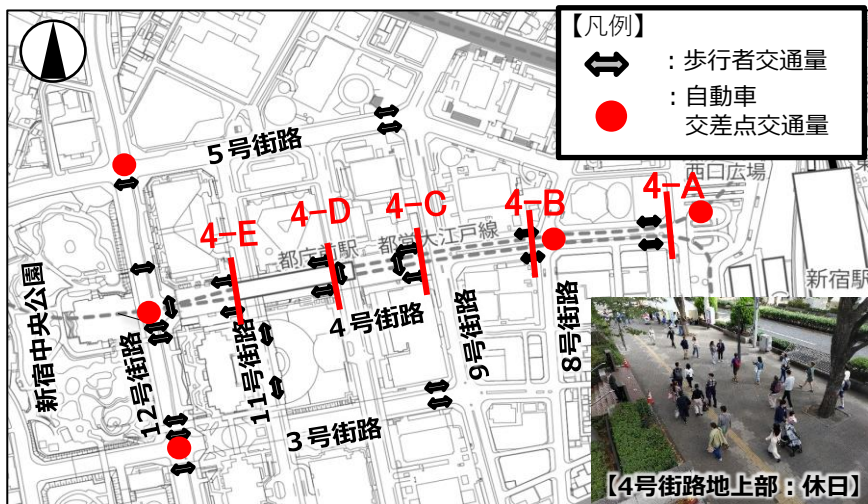
- ・ イベント平日・休日の4号街路の歩行者交通量（R6）は、通常時（R3）と比べて**増加**傾向
- ・ イベント平日・休日の4号街路の歩行者交通量（R6）について、断面4-D、4-Eは、特に約1.5～2.0倍増加し、イベントの効果及び新宿中央公園側の行き来が多く利用されたと考えられる。
- ・ 周辺街路の自動車交通交通量も、交通規制により通常時（R6：平日）と比べて**増加**傾向であるが、周辺交通に大きな影響はなかった

■ 交通量調査の概要

○歩行者交通量調査 2024年10月18日(金)・20日(日)（どちらもイベント時）

○自動車交通量調査 2024年10月18日(金)(イベント時)・25日(金)（通常時）

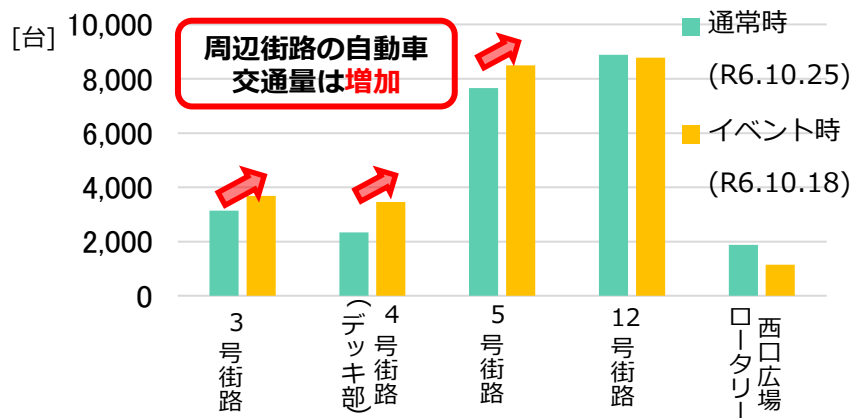
■ 調査箇所図



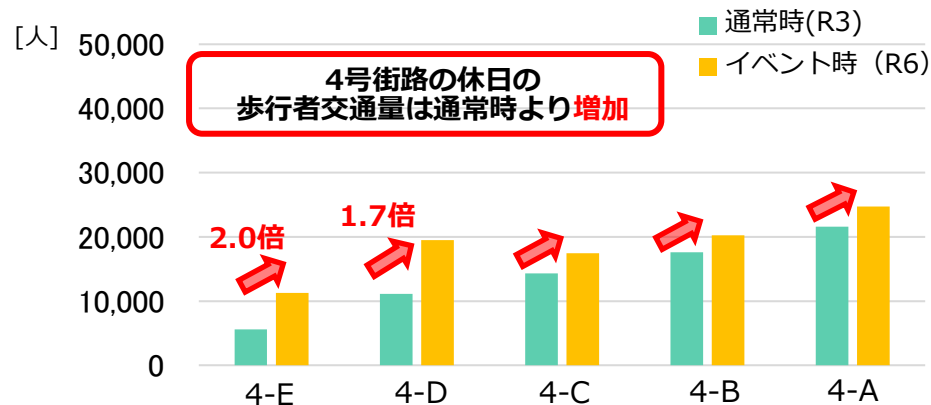
■ 歩行者交通量(4号街路断面)（通常時とイベント時の比較）平日



■ 自動車交通量(断面)（通常時とイベント時の比較）平日



■ 歩行者交通量(4号街路断面)（通常時とイベント時の比較）休日



② モビリティ利用者アンケート調査

- ・ 手動走行モビリティ2種（WHILL、c+walk T）と自律走行モビリティ2種（ラクロとPMO）の実証を実施※1
- ・ 3日間で**計376名**が利用し、利用者を対象にアンケート調査を実施

■モビリティ実証実験概要

※1：このほか、環境改善委員会が手動走行モビリティ（コモビ）の実証を実施



- ①WHILL ②C+walk T
- 📍 貸出拠点 ➡ 走行ルート
- ③Rakuro
- 📍 乗降所 ⬅ 走行ルート
- ④PMO (PARTNER MOBILITY ONE)
- 📍 乗降所 ↔ 走行ルート



⑤コモビ（新宿三井ビル前にて環境改善委員会が貸出を実施）

■モビリティ利用実績とアンケート回収状況

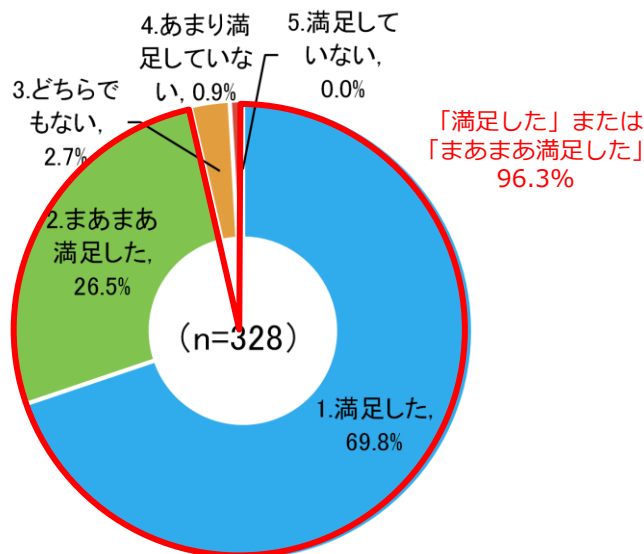
利用日	① WHILL	② C+walk T	③ ラクロ	④ PMO	4種類合計
利用者数 人					
10/18 (金)	21	21	24	37	103
10/19 (土)	27	23	28	54	132
10/20 (日)	24	32	35	50	141
3日間合計	72	76	87	141	376
アンケート回収数 (回収率※2)	65 (90.2%)	75 (98.7%)	65 (74.7%)	103 (73.0%)	308※3 (81.9%)

※2：アンケート回収率=回収数/利用者数、※3：一度に複数人乗車した場合は人数分カウント、※4：このほか、コモビのアンケート結果が20件あり

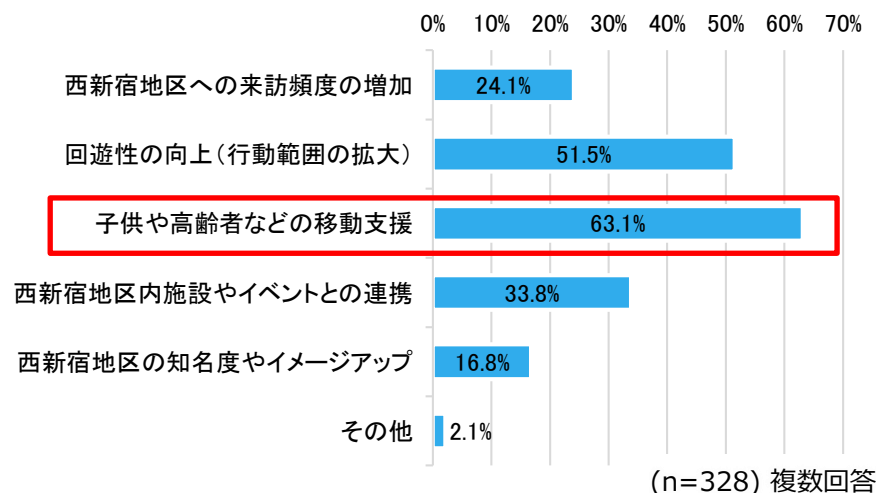
② モビリティ利用者アンケート調査

- 乗車した満足度について概ね高評価を得られた一方、乗車中にヒヤリと感じたという回答も存在
- 安全性向上のため、道路空間の段差解消や路面標示などの対策検討が必要
- 期待される効果や行きたい施設を踏まえ、今後新たなモビリティサービス導入に向けたポート配置等の検討が必要

■ 今回乗車したモビリティの全体的な満足度

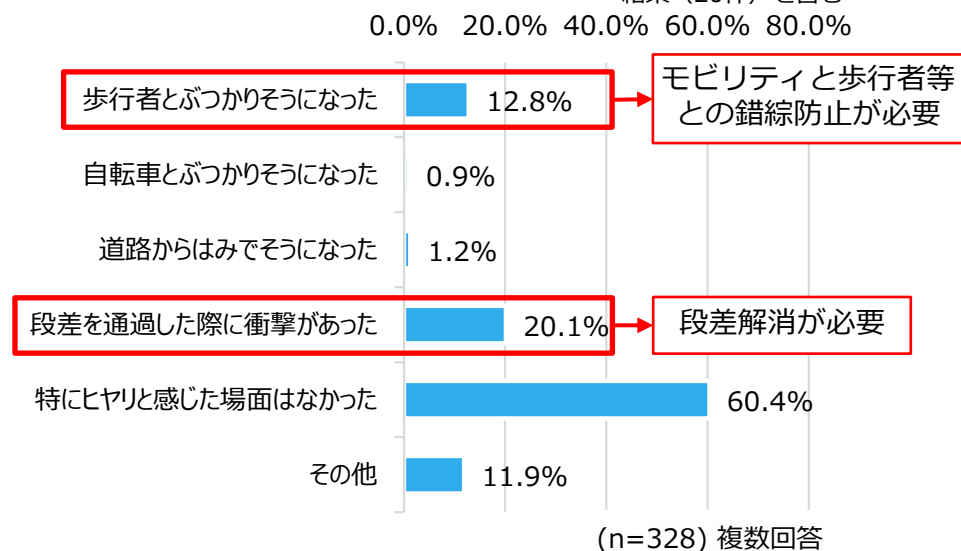


■ 次世代モビリティの導入により期待されること

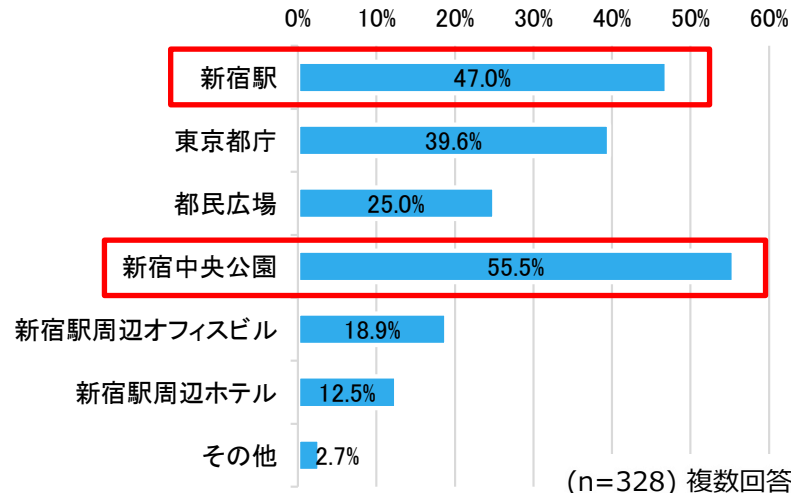


■ 乗車中にヒヤリと感じた場面

※いずれもコモビのアンケート結果(20件)を含む



■ 次世代モビリティを利用して行きたい施設

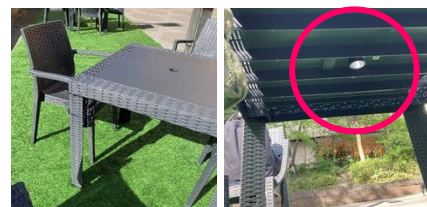


③ 都民広場の利用状況調査

【調査概要】

- ファンモアタイム新宿2024の3日間を含む20日間（2024年10月18日～11月6日）、朝から夜まで都民広場（芝生エリア）にテーブル・椅子やクッション等を設置
- テーブルセンサー（※）やモニタリングによって利用状況を調査

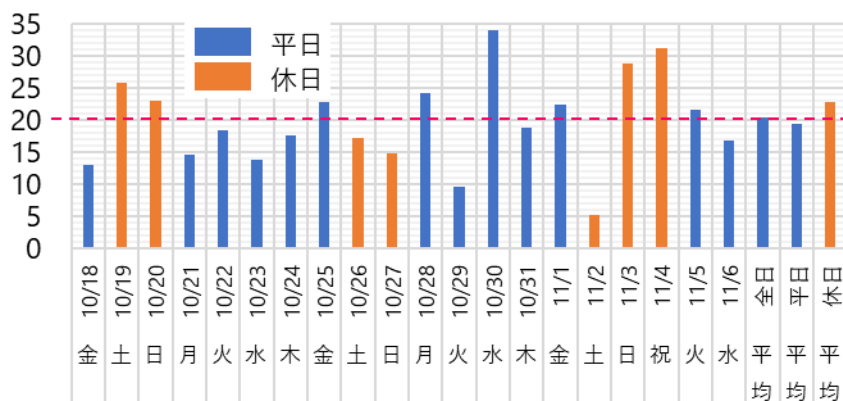
（※）テーブル裏にセンサーを設置



【調査結果】

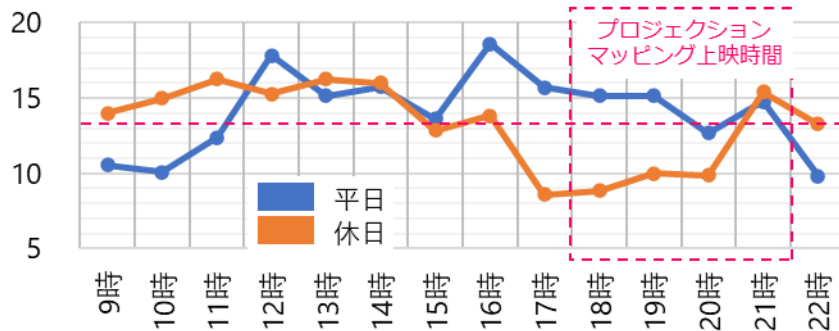
▼テーブルセンサー結果（抜粋）

① 日別平均利用時間



平日・休日ともに、利用平均時間は20分前後

② 時間別利用回数



平均利用回数は13.8回。夜間も一定の利用

▼モニタリング結果（抜粋）

① ファンモア時



② 平日



③ 休日



- ・どの時間帯も芝生空間を中心に、利用が見られる。
- ・賑わいコンテンツ（ファンモアイベント、プロジェクションマッピング等）の利用者による滞在空間としても機能。

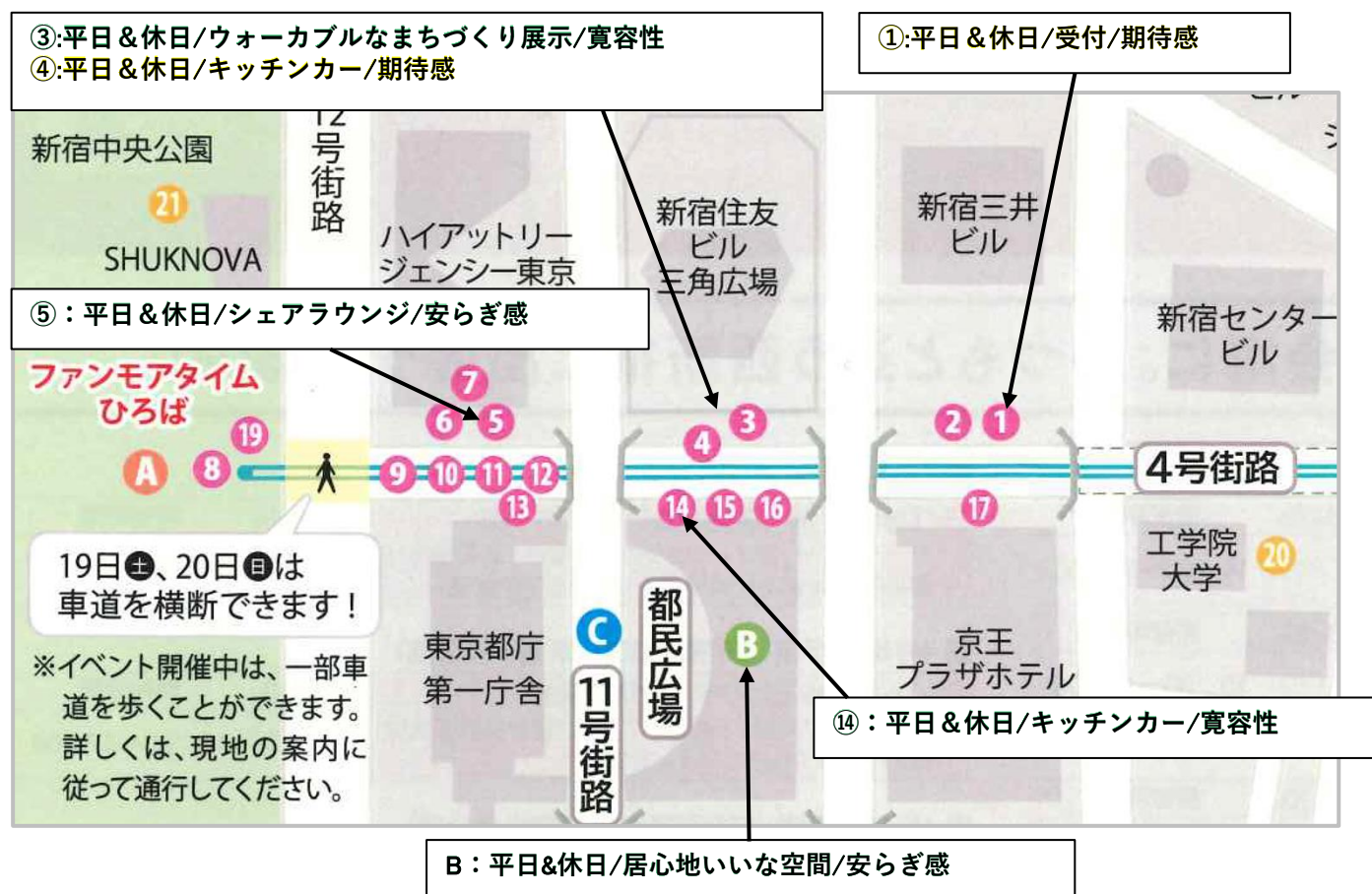
検証結果を財務局と共有し、都庁周辺の空間再編の具体化に向けた設計等に生かし、整備を進めていく。

④「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査

●居心地の良さの要素に対応した調査場所



※「安心感」は全コンテンツに共通して必要な要素であるため、全箇所で開催



④「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査

■調査概要

●利用者アンケート実施方法

国交省「まちなかの居心地の良さを測る指標」による居心地の良さ4要素（『寛容性』『期待感』『安らぎ感』『安心感』）の評価項目に基づいて実施。

- 回答総数 合計 546件（10/18(金) 246件、10/20(日) 300件）
- 属性 男性 284人、女性 259人、無回答他 3人
- 来場目的 平日：たまたま立ち寄った（44%）、イベントに関心あり(42%)
休日：たまたま立ち寄った（44%）、イベントに関心あり(36%)
- 来訪元 平日：西新宿の勤務者（31%）・来街者（37%）
休日：来街者（77%）・西新宿周辺居住者（17%）
- 滞在時間 平日：1時間未満（51%）
休日：1時間～2時間（24%）、1時間程度（25%）
- イベント周知 平日：通りがかり（46%）、知人・友人（13%）、
 チラシ・ポスター（9%）、勤務先での告知（8%）
休日：通りがかり（49%）、知人・友人（16%）、
 チラシ・ポスター（7%）、HP（6%）

- ・平日はイベント自体に関心があり、目的を持って来場している人の割合が昨年より増えている。
- ・休日は新宿に用事がありその流れで立ち寄った人の割合が昨年より増加しており、回遊性が高まっていると考えられる。
- ・平日、休日ともに、昨年より滞在時間が長くなっている。

④「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査

●居心地の良さに対する評価（アンケート実施場所が多かった感想）

	平日	休日
寛容性	ウォーカブルなまちづくり展示・キッチンカー（住友ビル前、都民広場前）	
	・きれいで気持ちよく過ごせる場所 ・気軽に出入りできる場所 } という感想が多かった →歩道上に机椅子等の配置を行い、 <u>オフィスワーカーの滞在（短時間利用）を促進する仕掛けづくりへの需要は高いと考える。</u>	・子供が声を出して遊べる場所 ・思い思いの時間を過ごせる場所 } という感想が多かった →多様な来訪者が長く滞在できる仕掛けづくりの需要は高いと考える。また、物販飲食系（キッチンカー等）の需要も見込まれるものとする。
期待感	キッチンカー・受付（モバイルインフィル）（住友ビル前、三井ビル前）	
	・複数人で飲食をしたい場所 ・人が集まり面白そう、雰囲気の良い場所 } という感想が多かった →飲食に対して期待感が高く、気軽に飲食できる仕掛けづくりが必要であるとする。展示系について、面白そう・雰囲気が良いという期待感が寄せられていることから、 <u>非日常的な展示の需要は見込まれていると考える。</u>	・人が集まり面白そう、雰囲気が良い場所 ・子供や大人が楽しく遊べる場所 } という感想が多かった →面白そう・雰囲気が良いという意見や、魅力的なコンテンツがあり子どもや大人が楽しく遊べる場所という意見が平日より多いことから、 <u>休日に公共空間を活用してのイベントは需要が高いと考える。</u>
安らぎ感	シェアラウンジ・居心地いい空間（ハイアット前、都民広場内）	
	・休憩したり、くつろいだりしたい場所 という感想が多かった →座ってくつろぐ場所への期待値が高いため、超高層ビル街区の足元空間に対し、静かに過ごす <u>公園のような使われ方が求められていると考える。</u>	・休憩したり、くつろいだりしたい場所 ・陽だまり、日陰で過ごしたい場所 } という感想が多かった →平日に近似した意向であり、 <u>陽だまり・日陰で過ごしたいという意見が平日より多いため、やすらぎ感のある空間整備することで、街なかへ一定の賑わいを見込むことが期待できる。</u>


 西新宿地区再整備ガイドライン(案)の【地区全体の取組】に対する評価を確認。
 今後もパイロットプロジェクトや社会実験を継続し、再整備方針の実現を目指す。